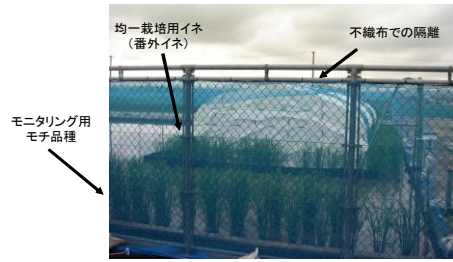


ディフェンシン遺伝子導入イネの複合耐病性評価及び有望系統の選抜
 (カラシナ由来の抗菌性タンパク質をもつ複合耐病性イネ系統の隔離圃場栽培実験)
 (栽培実験期間:平成18年度)

確認項目		確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	本栽培実験では、隔離距離による交雑防止措置をおこなっています。同種栽培作物までの距離が30m以上(約37m)ある事を確認しました。(研究所の外の同種栽培作物のほ場との距離は約220m)。なお、センター独自の取組として周囲の一般イネの開花時期を3週間程度ずらす事及び実験区画に不織布の設置を行っています。
	○モニタリング措置について	交雑の有無について、190, 400粒調査した結果交雑粒は確認されませんでした。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	実験苗以外と区分した管理、密封容器での運搬、防鳥網の設置(平成18年7月18日から設置)による拡散防止を実施している事を確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	一部、専用機械等を使用している事、またそれ以外の機械等は、実験区画外搬出の際の洗浄による払い落としを実施している事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	P1P実験室に「GM作物」と明記した密封容器で保管している事を確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	隔離ほ場の切り株はほ場内に鋤き込み、植物体残渣は密閉容器で運搬後P1P隔離温室内のオートクレーブで不活化した事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	今年度は後作を栽培していない事を確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	平成18年6月20日に公表された事を確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が平成18年6月22日に開催された事を確認しました。また、本実験について小規模な説明会及び見学の受け入れを実施している事を確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本実験の経過について28件の情報がホームページに掲載されている事を確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	栽培終了について平成18年11月1日、処理終了について平成19年3月6日、モニタリング結果について平成18年12月1日にホームページに掲載されたことを確認しました。また、実験結果の概要が平成19年5月18日にホームページに発表されていることを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備している事を確認しました。

北陸センター内遺伝子組換えイネ栽培実験隔離ほ場



平成18年9月13日(水)撮影

隔離ほ場から約270m西に離れた地点の
モニタリング用イネ設置場所



平成18年9月13日(水)撮影